

アイオワ大学歯学部保存修復学講座准教授
米国審美歯科ボード専門医
辻本 暁正 先生



略歴
フランス・パリ出身
2006年 日本大学歯学部卒業
2011年 日本大学歯学部大学院歯学研究科卒業
2013年 日本大学歯学部保存学教室修復学講座助教
2015年 クレイトン大学歯学部一般歯科学講座客員助教
2016年 ネブラスカ州立大学歯学部大人修復学講座非常勤助教
2019年 香港大学歯学部歯科理工学講座名誉助教
2021年 日本大学歯学部保存修復学講座准教授
2021年 アイオワ大学歯学部保存修復学講座准教授
2022年 クレイトン大学歯学部一般歯科学講座客員准教授

日本歯科保存学会専門医
日本接着歯学会指導医
日本歯科審美学会認定医
日本歯科理工学会シニアデンタルマテリアルアドバイザー
IADFEフェロー
米国審美歯科ボード専門医

講師 辻本 暁正 先生
Dr. Tsujimoto Akimasa

日時 2023年 1月19日(木) 13:00～14:00
2月 2日(木) 13:00～14:00
2月16日(木) 13:00～14:00
3月 2日(木) 13:00～14:00
※アイオワよりZOOMを繋ぎリアルタイムで開催いたします。

受講料 無料

対象 歯科医師、歯科衛生士、歯科助手

定員 各回100名

申込方法 下記QRコードより必要事項をご記入の上、お申込みをお願いします。



※各回とも内容は同一となりますので、オンデマンド配信等は予定しておりません。
※事前にZOOMのダウンロードをお願いいたします。
※一医院様複数端末のお申込みも可能です。

お問合せ 株式会社 中央歯科産業 本店 TEL (052) 914-6841



システマティックホワイトニング ～ホワイトニングの次なるステップ～ ホワイトニングをシステム化した段階的な治療方針

本セミナーは、これまでウルトラデント社が毎週開催している“ホワイトニング教室”で多くの質疑応答にご対応頂いている“アイオワ大学歯学部准教授・米国審美歯科ボード専門医、辻本暁正先生”を講師に招き、米国からライブでセミナーを開催します。辻本先生は、日本大学歯学部保存学教室修復学講座在籍中、ウルトラデント社と毎月開催している“オフィスホワイトニング完全マスターホワイトニング塾”講師として、セミナーでお話し頂くとともに多くの臨床研究にも携わって頂きました。また、アイオワ大学歯学部異動後も形を変え“オンラインセミナー、ホワイトニング教室”とともにウルトラデント社のクリニカルアドバイザーとして活動を続けて頂いています。

本セミナーが、ホワイトニングを含めた日常臨床における疑問点を解決できる場となれば幸いです、是非ご視聴ください。

抄録

2021年11月よりウルトラデント社から“新世代のホームホワイトニング材、オパールエッセンスGo”が上市され、より手軽にホームホワイトニングを行えるようになった。昨今、患者の“歯を白くしたい!”という訴求は高まる一途であるとともに、コロナ禍のマスク生活を逃すまいとホワイトニングの需要は拡大し続けている。また、歯科医院からのホワイトニングに対するSNS戦略マーケティングも加速しており、とくに既成トレーを用いることでカスタムトレーの製作が必要ないオパールエッセンスGoは注目を集めている。実際にこの1年、オパールエッセンスGoはホワイトニングの導入としてのみならずデュアルホワイトニングとの併用においても数多くの実績をあげており、患者満足度も高く、快適に効率的なホワイトニングが可能となっている。しかし、日常臨床におけるホワイトニング施術の増加に伴って、“ただ歯を白くする”という結果だけでなく知覚過敏やホワイトスポットへの対応など、様々の状況に応じた次なるステップを強いられる場面も散見されるようである。

これまで、ウルトラデント社とともに60回、2500名以上の受講者に対して開催してきたホワイトニング教室においても、回を重ねるごとに質問内容もより高度なものへと変化している。ホワイトニング後の知覚過敏への対応については、2021年6月より発売されている“フッ化物パーニッシュ、エナメラスト”によってその対応が飛躍的に向上し、知覚過敏抑制のみならずホワイトニングとの併用によって歯質強化が可能となっている。すなわち、ホワイトニングによって獲得被膜(ペリクル)が分解されたエナメル質表面に対してエナメラストを塗布することで、フルオロアパタイトの形成がより促進されるとともにコーティングによって外来刺激を一時的に遮断する。しかし、ホワイトニングとフッ化物との併用についての理解は、術前の“知覚過敏抑制材、ウルトラライズ”およびフッ素を含有した研磨材を用いたPMTC、さらに術後のエナメラストの適用も含め十分にではないのが現状である。

また、ホワイトニング教室における質問で上位にくる“ホワイトスポットへの対処方法”については、診査診断方法が分からない、ICDAS・ICCMS分類とは?“エナメルマイクログラブレーション、オパールストラ”とは?ダイレクトボンディングを行うのか?ラミネートベニアでの対応になるのか?などの質問とともに、様々な症例に応じたホワイトニング臨床の最適化がなされていないようである。

そこで、このような疑問点を解決し、患者の状態に合わせた最適なホワイトニング法の提案が行えるよう、本セミナーではホワイトニングをシステム化した段階的な治療方針について解説する。